

(環境省24-5)

施策名	目標2-1オゾン層の保護・回復				担当部局名	フロン等対策推進室	作成責任者名	フロン等対策推進室長 高澤 哲也		
施策の概要	オゾン層の状況の監視を行い、オゾン層破壊物質の生産・消費規制、排出抑制対策を実施し、さらにフロン類の回収・破壊を推進することにより、オゾン層の保護・回復を図る。				政策体系上の位置付け	2. 地球環境の保全				
達成すべき目標	オゾン層破壊物質の生産・消費の削減及び既に使用されたオゾン層破壊物質の回収・大気放出を抑制し、オゾン層の保護・回復を図り、有害紫外線による人の健康や生態系への悪影響を減らす。			目標設定の考え方・根拠	モントリオール議定書		政策評価実施予定時期	平成25年6月		
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値					測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
	基準年度	目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
1 ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)消費量(ODPtン)	5,562	H元年度	0	H32年度	-	-	-	-	-	モントリオール議定書において平成32年度までに0とすることとされているため。
2 業務用冷凍空調機器からのフロン類回収量(トン)	-	-	増加傾向を維持	-	-	-	-	-	-	既に使用された機器のフロン回収量について、都道府県の登録を受けた回収業者から報告された機器廃棄時及び整備時における回収量を計測し増加傾向を維持することとした。
3 PRTRによるオゾン層破壊物質の排出量のODP換算値(ODPtン)	-	-	減少傾向を維持	-	-	-	-	-	-	PRTR法に基づくオゾン層破壊物質の排出量にオゾン破壊係数を乗じて得られた数の合計を計測し減少傾向を維持することとした。

達成手段(開始年度)	補正後予算額(執行額) (百万円)		24年度 当初 予算額 (百万円)	関連する 指標	達成手段の概要等
	22年度	23年度			
フロン等対策推進調査費 (1) (※「達成手段の概要」参照)	143 (96)	130	106	1, 3	<p>&lt;達成手段の概要&gt; オゾン層破壊物質の排出抑制対策を実施するとともに、温室効果ガスである代替フロン等3ガスの排出抑制を実施するため、フロン類の適正な回収及び破壊の推進やオゾン層の状況の監視等を行い、今後の対策について検討等を行う。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; ・オゾン層の保護・回復と地球温暖化の防止 ・2008年～2012年の代替フロン等3ガスの排出量を基準年総排出量比で▲1.6%とするため、 ①業務用冷凍空調機器の冷媒フロン類の廃棄時回収率を20年度～24年度の5年間で平均6割に向上 ②HFCなどの代替フロン等3ガスの排出量を20年度～24年度の5年間平均で3,100万t-CO2に抑制 ・業務用冷凍空調機器の使用時排出抑制対策・ノンフロン製品等の普及加速化による脱フロン社会構築の推進</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; ・業務用冷凍空調機器の冷媒フロン類の廃棄時回収率は約3割と低い水準であり、法律の施行状況の実態把握やフロン類に係る経済的手法の適用可能性の検討を行うことにより、フロン類対策の一層の向上を図ることができる。 ・フロン類等を用いないノンフロン製品の普及を図ることにより、消費者のフロン対策に対する意識を向上するとともに、フロン類等の消費量や排出量の削減を図ることができる。</p>
省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業【関連：24-2】	-	-	-	2	<p>&lt;達成手段の概要&gt; 業務用の冷凍・冷蔵・空調設備に関し、自然冷媒を使用した省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部(フロン類冷媒を使用した同等の冷凍能力を有する装置を導入する場合の費用との差額の3分の1)を補助する。</p> <p>&lt;達成手段の目標&gt; 省エネ自然冷媒冷凍等装置の導入・普及の促進</p> <p>&lt;施策の達成すべき目標(測定指標)への寄与の内容&gt; 平成20～23年度の補助事業によるCO2削減見込量(累計)は、 平成20年度 約9,400t-CO2/年 (省エネルギー化約2,900t-CO2/年、フロン類冷媒使用時漏洩由来 約6,500t-CO2/年) 平成21年度 約23,000t-CO2/年 (省エネルギー化 約7,600t-CO2/年、フロン類冷媒使用時漏洩由来 約15,400t-CO2/年) 平成22年度 約31,800t-CO2/年 (省エネルギー化約10,700t-CO2/年、フロン類冷媒使用時漏洩由来 約21,100t-CO2/年) 平成23年度 約46,100t-CO2/年 (省エネルギー化 約14,300t-CO2/年、フロン類冷媒使用時漏洩由来 約31,800t-CO2/年)</p>